

平成 2 2 年度

第 3 回 八王子市市史編集委員会

日 時：平成 2 3 年 1 月 3 0 日（日）

午後 2 時から 4 時まで

場 所：男女共同参画センター会議室

【次 第】

1 . 開会

2 . 専門部会の活動状況について

資料 1 市史編集専門部会調査活動報告

3 . 平成 2 3 年度市史編さん事業スケジュールについて

資料 2 平成 2 3 年度市史編さん事業スケジュール案

4 . 資料編等の刊行準備について

資料 3 資料編名称等の統一について

5 . 『八王子市史研究』第 2 号について

資料 4 『八王子市史研究』第 2 号の概要について

6 . 市史編さん審議会への報告について

資料 5 平成 2 2 年度第 1 回市史編さん審議会の概要について

7 . その他

8 . 閉会

市史編集専門部会調査活動報告

(平成22年9月～12月分)

部 会 名	原始・古代部会 平成 22 年度第 6 回部会会議	開催（実施）日時 平成 22 年 9 月 11 日（土） 午前・ 午後 1 時 00 分から 午前・ 午後 5 時 00 分まで
報告者（部会長氏名） < 敬称略 >	関 和彦	専門員氏名 馬場 有美
出席者（参加者）氏名 < 敬称略 >	部会長 関 和彦 部会委員 竹花美保、深澤靖幸 専門調査員 服部敬史、横田深雪 協力者（須恵器編年研究者）根本靖、江口桂、河合英夫、小野本敦 【事務局】新井雅人	
<p>概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）</p> <p>1．第 2 回 南多摩窯跡群須恵器編年の暦年代に関する検討会 7 月 8 日（木）に行った第 1 回に続き、再度須恵器編年研究者 4 名を招き、南多摩窯跡群から出土する須恵器編年の暦年代について検討を行った。</p> <p>報告及び検討</p> <p>（ 1 ）はじめに（服部） （ 2 ）東金子窯と南多摩窯（根本） （ 3 ）武蔵国府の須恵器と年代比定（江口） （ 4 ）武蔵国分寺の須恵器と年代比定（小野本） （ 5 ）相模国域内の南多摩窯須恵器 - 紀年銘墨書土器の周辺（河合）</p> <p>討論</p> <p>（ 1 ）八坂前窯・新久窯と南多摩 G 3 7 窯式の関係 （ 2 ）南多摩御殿山窯の編年と年代 （ 3 ）『八王子市史研究』原稿の執筆について</p> <p>【配付資料】 南多摩窯跡群須恵器編年の暦年代に関する検討会資料</p>		

部 会 名	原始・古代部会 平成 22 年度第 7 回部会会議	開催（実施）日時 平成 22 年 9 月 16 日（木） 午前・ 午後 7 時 00 分から 午前・ 午後 8 時 30 分まで
報告者（部会長氏名） <敬称略>	関 和彦	専門員氏名 馬場 有美
出席者（参加者）氏名 <敬称略>	部会長 関 和彦 部会委員 池上 悟、及川良彦、深澤靖幸 専門調査員 服部敬史、黒田智章、紺野英二、横田深雪 【事務局】新井雅人 長谷部晃一	
<p>概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）</p> <p>1．資料編の原稿執筆状況について 各構成員の原稿執筆の進捗状況を報告。 8割方完成している 服部、黒田 一部手をつけている 及川、池上、深澤、横田、紺野 完成した原稿は、その都度電子メールにて事務局に提出することを確認。 掲載写真の選定について 掲載写真は原則、執筆者が選定する。執筆する際、どの写真を使うかを考慮すること。 掲載図面について 横田専門調査員が作成した図面について、執筆者が担当部分の図面を確認する。手直しの必要があれば直接横田専門調査員に連絡すること。</p> <p>2．ボーリング調査について 故環境復元のためのボーリング、土壌分析調査を行う。ボーリングは市内2か所、分析は花粉分析、珪藻分析の2種の予定 委員から14c年代測定分析が必要との要望が多いため、予算的には苦しいが検討することとする。</p> <p>3．『八王子市史研究』記載論文について 関部会長 ほぼ完成した。 服部専門調査員 9/11の検討会の結果を踏まえて執筆を進めている。</p> <p>【配付資料】 1．原始・古代資料編執筆分担表（案）</p>		

部 会 名	原始・古代部会 平成 22 年度第 8 回部会会議	開催（実施）日時 平成 22 年 10 月 26 日（火） 午前・ 午後 6 時 30 分から 午前・ 午後 7 時 30 分まで										
報告者（部会長氏名） < 敬称略 >	関 和彦	専門員氏名 馬場 有美										
出席者（参加者）氏名 < 敬称略 >	部会長 関 和彦 部会委員 池上 悟、竹花美保、深澤靖幸 専門調査員 服部敬史、黒田智章、紺野英二、横田深雪 【事務局】佐藤 広 新井雅人 長谷部晃一											
概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）												
<p>1．資料編の原稿執筆状況について 各構成員の原稿執筆の進捗状況を報告。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">ほぼ完成した</td> <td>服部、黒田、横田</td> </tr> <tr> <td>半分ほど完成</td> <td>竹花、深澤、及川</td> </tr> <tr> <td>まだこれから</td> <td>池上、紺野</td> </tr> </table> <p>2．ボーリング調査について 委託先は「武蔵文化財研究所」に決定。市内 2 か所をボーリング調査する。分析内容は、1 か所につき、14c 年代分析 2 点、花粉分析 5 点、珪藻分析 5 点。遅くとも 3 月中旬には分析結果が納品される。</p> <p>3．『八王子市史研究』掲載論文について 関部会長、服部専門調査員の原稿を事務局に提出した。なお、服部専門調査員の作成した「南多摩窯跡群須恵器編年表」を次回配付する。</p> <p>4 その他 今後の調査予定について</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">国立東京博物館</td> <td>深澤委員が中山白三神社関係資料を調査予定</td> </tr> <tr> <td>國學院大學</td> <td>八王子インター関係遺跡資料の調査を予定。及川、深澤委員が事前調査を行う。</td> </tr> </table> <p>【配付資料】</p> <p>1．原始・古代資料編執筆分担表（案）</p>			ほぼ完成した	服部、黒田、横田	半分ほど完成	竹花、深澤、及川	まだこれから	池上、紺野	国立東京博物館	深澤委員が中山白三神社関係資料を調査予定	國學院大學	八王子インター関係遺跡資料の調査を予定。及川、深澤委員が事前調査を行う。
ほぼ完成した	服部、黒田、横田											
半分ほど完成	竹花、深澤、及川											
まだこれから	池上、紺野											
国立東京博物館	深澤委員が中山白三神社関係資料を調査予定											
國學院大學	八王子インター関係遺跡資料の調査を予定。及川、深澤委員が事前調査を行う。											

部 会 名	原始・古代部会 平成 22 年度第 9 回部会会議	開催（実施）日時 平成 22 年 12 月 14 日（火） 午前・ <u>午後</u> 6 時 30 分から 午前・ <u>午後</u> 8 時 00 分まで
報告者（部会長氏名） <敬称略>	関 和彦	専門員氏名 馬場 有美
出席者（参加者）氏名 <敬称略>	部会長 関 和彦 部会委員 池上 悟、及川良彦、黒尾和久、深澤靖幸 専門調査員 服部敬史、黒田智章、紺野英二、横田深雪 【事務局】新井雅人 長谷部晃一	
概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）		
<p>1．資料編の原稿執筆状況について</p> <p>原始・古代資料編の遺跡解説原稿の執筆状況について、部会委員、専門調査員から報告。</p> <p>執筆を進めるうえでの課題等</p> <p>掲載遺跡を見直す場合は、服部専門調査員に情報を伝えることにする。</p> <p>用語解説の取り上げ方をどのようにするか、他市史も参考にしながら検討する。</p> <p>横田専門調査員作成の遺跡分布図に、地形と遺跡の位置にずれがあるものが見つかった。</p> <p>執筆担当遺跡の位置を確認し、修正指示をする。</p> <p>掲載したい図版や写真の要望も早めに事務局・専門調査員へ報告する。</p> <p>2．ボーリング調査について</p> <p>11月25日に、都立小宮公園と片倉城跡公園においてボーリング調査が行われた。</p> <p>現在土壌分析作業中のため、結果が出たら報告する。</p> <p>3．その他</p> <p>掲載予定写真のスキャナ読み込み作業が開始した。</p> <p>1月24日から3月半ばまで、八王子市埋蔵文化財整理室に収蔵されている遺物の集合写真の撮影を行う予定。</p> <p>【配付資料】</p> <p>1．原始・古代資料編執筆分担表（案）</p> <p>2．ボーリング（土壌分析）調査の状況について</p>		

部 会 名	中世部会 平成 22 年度第 1 回資料調査	開催（実施）日時 平成 22 年 9 月 18 日（土）から 9 月 20 日（月）まで
報告者（部会長氏名） < 敬称略 >	池上裕子	専門員氏名 柳沢 誠
出席者（参加者）氏名 < 敬称略 >	部会長 池上裕子 部会委員 櫻井 彦 加藤 哲	【事務局】柳沢 誠
<p>概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）</p> <p>【内 容】</p> <p>9 月 18 日（土）～ 20 日（月）の 3 日間、山口県文書館、島根県大田市南八幡宮、島根県立古代出雲歴史博物館で資料調査を行なった。</p> <p>1．山口県文書館（18 日） 由井本郷大畑村等を所領とした天野氏関係文書（応永 8 年 6 月「天野顕忠議状案」、寛正 3 年 12 月 13 日「天野家氏・同弘真連署議状」他）の調査（調査カード作成、写真撮影）を実施した。</p> <p>2．島根県大田市南八幡宮（19 日） 「大石源三源朝臣憲重」の銘がある経筒が納入されていた鉄塔を調査した。鉄塔は解体工事中であったが、宮司石崎俊朗氏に神社の由来や信仰について聞き取り調査を行なった。</p> <p>3．島根県立古代出雲歴史博物館（20 日） 大田市南八幡宮より出土し古代出雲歴史博物館に寄託中の経筒（大永 5 年 5 月吉日「大石源三源朝臣憲重」銘他）の調査（調査カード作成、写真撮影）を行なった。</p>		

部 会 名	中世部会 平成 22 年度第 2 回資料調査	開催（実施）日時 平成 22 年 10 月 17 日（日） 午前 10 時から 午後 5 時 30 分まで
報告者（部会長氏名） < 敬称略 >	池上裕子	専門員氏名 柳沢 誠
出席者（参加者）氏名 < 敬称略 >	部会長 池上裕子 部会委員 加藤 哲 専門調査員 遠藤ゆり子 徳永裕之 調査員 鈴木啓太 <p style="text-align: right;">【事務局】長谷部晃一 柳沢 誠</p>	
概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください） 【内 容】 八王子市初沢町高乗寺所蔵文書（弘治 3 年〔1557〕11 月 27 日「北条家朱印状」、丑（永禄 8 年・1565）7 月 21 日「北条氏照印判状」他。市指定文化財）の調査（実測・写真撮影）を行なった。 中世文書をはじめとして、近世から近代にわたる文書 140 点余りの文書について写真撮影を行なった。 撮影画像をもとに目録を作成している。		

部 会 名	中世部会 平成 22 年度第 2 回実踏調査	開催（実施）日時 平成 22 年 11 月 28 日（日） 午前 10 時から 午後 5 時まで
報告者（部会長氏名） < 敬称略 >	池上裕子	専門員氏名 柳沢 誠
出席者（参加者）氏名 < 敬称略 >	部会長 池上裕子 部会委員 小林一岳 櫻井 彦 加藤 哲 専門調査員 徳永裕之 【事務局】長谷部晃一 渡部恵一 柳沢 誠	
<p>概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）</p> <p>【内 容】</p> <p>加住地区の西側、戸吹町と宮下町周辺を実踏し、城跡・寺社・石造物の確認調査を行なった。</p> <p>【主な調査先】</p> <p>1．戸吹町 戸吹城跡（二城城址）、住吉神社、戸吹町松崎家石塔、桂福寺、無量寺 他</p> <p>2．宮下町 若松神社 他</p> <p>【配布資料】</p> <p>『新編武蔵国風土記稿』多摩郡（文献出版）より、戸吹村、宮下村の箇所のコピー。</p>		

部 会 名	中世部会 平成 22 年度第 4 回実踏調査	開催（実施）日時 平成 22 年 12 月 19 日（日） 午後 1 時から 午後 5 時まで
報告者（部会長氏名） < 敬称略 >	池上裕子	専門員氏名 柳沢 誠
出席者（参加者）氏名 < 敬称略 >	部会長 池上裕子 部会委員 小林一岳 櫻井 彦 加藤 哲 専門調査員 徳永裕之 本間岳人 【事務局】長谷部晃一 渡部恵一 柳沢 誠	
概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください） 【内 容】 1．資料編の構成について (1) 判型・体裁 A5 版 2 段組 25 文字×18 行とする。 総ページ数は今後検討課題とする。 (2) 構成案（以下仮称） ・文献資料編 1．古文書 補遺 市内の中世文書 2．金石・記録 3．系図・過去帳・由緒 ・考古資料編 （中世遺跡紹介、板碑、石造物〔五輪塔・宝篋印塔他〕） 2．今後の調査方針について (1) 資料調査 市内の中世資料所蔵者（寺社・個人）への調査を継続して行ない、都内をはじめ、 関東近県の関係文書の調査を進める。 (2) 資料データ 資料本文の総量を把握するため、データ入力を行なう。 徳永裕之専門調査員より、近世以降に八王子に移入し伝存した資料および中世を由 来とする由緒等の資料について報告があった。 3．研究報告「八王子市の中世石塔について」（本間岳人専門調査員）		

【配布資料】

- 1 .「中世関係の資料について」報告レジュメ（徳永専門調査員）
- 2 .「八王子市の中世石塔について」報告レジュメ（本間専門査員）
- 3 .「平成 22 年度第 4 回中世部会会議資料」レジュメ（事務局）

部 会 名	近世部会 平成 22 年度第 5 回部会会議	開催（実施）日時 平成 22 年 10 月 8 日（金） 午前・ 午後 2 時 30 分から 午前・ 午後 5 時 00 分まで
報告者（部会長氏名） < 敬称略 >	藤田 覚	専門員氏名 大木悠佑
出席者（参加者）氏名 < 敬称略 >	部会長 藤田覚 部会委員 神立孝一 山崎圭 光石知恵子 岩橋清美 【事務局】佐藤広 新井雅人 長谷部晃一 渡辺恵一 大木悠佑	
<p>概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）</p> <p>1．事務局報告</p> <p>（1）9月22日実施専門調査員・調査員会議の報告</p> <p>（2）資料所在調査の状況</p> <p>・元八王子地区 ・横山地区 他に北部（加住）などへの資料調査を行う</p> <p>（3）資料整理状況</p> <p>・借用整理中の資料 加住地区1軒 由井地区1軒 横山地区1軒</p> <p>（4）御用留帳の編さん室での利用について</p> <p>（5）郷土資料館より借用中のマイクロフィルムの扱いについて</p> <p>・マイクロフィルム借用中の資料は利用するものを編さん室マイクロリーダーにて利用あるいは紙焼きを行って利用する</p> <p>（6）他自治体史より八王子関連資料の抽出作業について</p> <p>（7）宗門人別帳について</p> <p>（8）資料編掲載候補資料の抽出作業について</p> <p>（9）市外資料調査の有無について</p> <p>2．資料編刊行までの作業について</p> <p>（1）筆耕状況の報告</p> <p>（2）刊行までのスケジュール（案）について</p> <p>（3）前回配布資料編目次案に補充する項目について</p> <p>各部会委員の進捗状況について</p> <p>3．資料集『村明細帳（仮）』について</p> <p>（1）現在までの作業の進捗状況について</p>		

4．その他連絡事項および次回部会会議の日程について

【配布資料一覧】

- 1．平成 22 年度第 5 回近世部会会議 資料
- 2．平成 22 年度第 1 回専門調査員・調査員会議 資料（9 月 22 日配布と同じもの）

部 会 名	近世部会 平成 22 年度第 6 回部会会議	開催（実施）日時 平成 22 年 11 月 19 日（金） 午前・ 午後 6 時 00 分から 午前・ 午後 8 時 00 分まで
報告者（部会長氏名） < 敬称略 >	藤田 覚	専門員氏名 大木悠佑
出席者（参加者）氏名 < 敬称略 >	部会長 藤田覚 部会委員 神立孝一 岩橋清美 白石烈 光石知恵子 山崎圭 専門調査員 長田直子 鈴木直樹 夏目琢史 山本英貴 【事務局】佐藤広 新井雅人 長谷部晃一 渡辺恵一 大木悠佑	
<p>概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）</p> <p>1．作業進捗状況の報告（事務局より）</p> <p>（1）資料所在調査・整理作業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・借用整理中の資料 <ul style="list-style-type: none"> 加住地区 3 軒、横山地区 2 軒、恩方地区 1 軒、元八王子地区 1 軒 川口地区 2 軒 <p>（2）他自治体史における八王子関連資料の抽出作業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業終了時期の決定 <p>（3）宗門人別帳</p> <p>（4）村明細帳</p> <p>（5）資料編掲載候補の資料筆耕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆耕済みの資料、点数の報告（190 点筆耕済） <p>2．資料編目次の項目について</p> <p>（1）各部会委員より作業の進捗状況報告</p> <p>（2）資料編の項目の増減について</p> <p>3．市外調査の計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐藤家嘉三郎文書、馬場直次郎家文書（信州上塩尻村）（上田博物館所蔵） ・富沢家文書（多摩郡連光寺村）（国文学研究資料館） ・渡辺家文書（豊島郡角筈村）（新宿区立歴史博物館） <p>【配布資料一覧】</p> <p>1．平成 22 年度第 6 回近世部会会議 資料</p>		

部 会 名	近現代部会 平成 22 年度第 3 回部会会議	開催（実施）日時 平成 22 年 9 月 23 日（木） 午前・ 午後 3 時 00 分から 午前・ 午後 5 時 00 分まで
報告者（部会長氏名） < 敬称略 >	新井 勝紘	専門員氏名 中村 元
出席者（参加者）氏名 < 敬称略 >	部会長 新井勝紘 部会委員 梅田定宏、齊藤勉、佐藤正広、前田成東、源川真希 【事務局】新井雅人 渡部恵一 中村元	
<p>概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）</p> <p>1．資料紹介 佐藤正広部会委員より、東京都公文書館所蔵八王子関係史料に含まれている大正期の八王子駅の物資流通に関する資料について、紹介が行なわれた。</p> <p>2．近現代資料編 1 の資料選択の現状について 各委員より、担当分野の資料選択の現状について、報告がおこなわれた。</p> <p>3．近現代資料編 1 の構成について 事務局より提示した「『八王子市史近現代資料編 1』（仮）の構成について」（案）をもとに検討がおこなわれた。資料編 1 は、総説及び各章で構成し、各章は冒頭の一段組み 50 字×18 行 10 頁程度の解説と、二段組み 25 字×18 行の掲載資料で構成することが確認された。章の数および頁数については、7 章立て・各章あたり 120 頁を出発点としつつも、収録資料の量により今後検討を行なっていくことが確認された。</p> <p>4．近現代資料編 1 に関する今後のスケジュールについて 資料選択については、刊行までのスケジュールを勘案し、遅くとも 12 月末までに各自の担当分野の資料選択をおえることが決定された。</p> <p>5．平成 23 年度近現代部会活動計画について 事務局より提示した「八王子市史編集専門部会 近現代部会 平成 23 年度計画」（案）をもとに、来年度の近現代部会の活動計画につき検討がおこなわれた。</p> <p>【配布資料一覧】 前回会議以降の市史編さん事業の経過について</p>		

八王子市市史編集専門部会 近現代部会 構成員一覧（平成 22 年 9 月 23 日現在）

佐藤委員資料紹介用資料

近現代資料編 野資料選択の状況（平成 22 年 9 月 23 日現在）

「八王子市史近現代資料編 1」の構成について（案）

近現代資料編 1 に関する今後の編集スケジュール（案）

八王子市史編集専門部会 近現代部会 平成 23 年度活動計画（案）

部 会 名	近現代部会 平成 22 年度第 4 回部会会議	開催（実施）日時 平成 22 年 11 月 15 日(月) 午前・ 午後 6 時 30 分から 午前・ 午後 8 時 30 分まで
報告者（部会長氏名） < 敬称略 >	新井 勝紘	専門員氏名 中村 元
出席者（参加者）氏名 < 敬称略 >	部会長 新井勝紘 部会委員 梅田定宏、齊藤勉、前田成東、源川真希 【事務局】新井雅人 長谷部晃一 渡部恵一 中村元	
<p>概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）</p> <p>1．近現代資料編 1 の筆耕作業の現状について 八王子市史編さん室に所蔵されている旧役場文書等より部会長・部会委員が選択した明治初期から昭和 39（1964）年の由木村合併に至る時期の資料の筆耕作業の状況について、事務局より報告がおこなわれた。</p> <p>2．近現代資料編 1 の章構成について 前回会議での検討をもとに部会長・部会委員の各章担当が確認され、担当の調整が行なわれた。</p> <p>3．八王子市史近現代 資料編・本編の対応関係と体制について 今後の資料編 1、資料編 2 と本編 1、本編 2 の対応関係と、近現代部会の部会委員・専門調査員の担当の体制について、検討がおこなわれた。 次回会議までに事務局が『八王子市史』『八王子市議会史』や、他の自治体史の構成などの検討に基づいて八王子の近現代を考える上で必要な項目のピックアップをおこない、それを基に改めて体制を検討することとなった。</p> <p>【配布資料一覧】 前回会議以降の市史編さん事業の経過について 八王子市市史編集専門部会 近現代部会 構成員一覧（平成 22 年 11 月 15 日現在） 八王子関係ミニコミ資料一覧 近現代部会筆耕作業の状況（平成 22 年 11 月 15 日現在） 1955 年以降の資料選択の状況（平成 22 年 11 月 15 日現在） 八王子市史近現代資料編 1 の構成について 八王子市史近現代 資料編・本編の対応関係と体制</p>		

部 会 名	自然部会 平成 22 年度 第 3 回植物分野会議	開催（実施）日時 平成 22 年 12 月 22 日（水） 午前・ 午後 3 時 00 分から 午前・ 午後 5 時 00 分まで
報告者（部会長氏名） < 敬称略 >	畔上能力	専門員氏名 佐藤千枝
出席者（参加者）氏名 < 敬称略 >	部会長 畔上能力 部会委員 菱山忠三郎 奥田重俊 新井二郎 専門調査員 内野秀重 調査員 小林健人 【事務局】新井雅人、長谷部晃一、佐藤千枝	
概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）		
<ol style="list-style-type: none"> 1. 部会長より挨拶及び新たに調査員（植物分野担当）となった小林健人氏の紹介 2. 奥田委員より希産種の報告 3. メッシュ調査（フロラ調査）の進捗状況の報告・確認 担当範囲の変更（内野氏の担当メッシュ増） 事務局入力管理データと奥田委員入力管理データとの合算し、「ファミリー別の全種リスト」「全種×メッシュ一覧リスト」を作成していく。 当面の調査整理においては、新エングラの分類体系を用いることとし、最終的に再検討する。 4. 植物和名統一表記一覧表（案）の検討 神奈川県植物誌の表記を基準とするが、八王子市として独自に判断したものはそれを採用する。 5. 分類群についての検討 6. 次回会議の議題 分類群の検討の必要なものについて 標本収集の方向性 文献収集及び情報の反映等について 		
【配布資料一覧】		
「メッシュ調査一覧-2010.12.22 作成版」		
「メッシュ位置図（確認種数入 / 調査状況表）2010.12.23 作成版」		
「全種一覧リスト-2010.12.21 作成版（事務局入力分）」		
「八王子メッシュ調査における重要植物（奥田担当）」 奥田委員より		
「検討課題について」 内野専門調査員より		
「植物和名統一表記一覧表（案）」 内野専門調査員より		
「千葉県植物誌資料 26」(A P G 最新植物分類系統表資料) 内野専門調査員より		

部 会 名	民俗部会 平成 22 年度第 3 回部会会議	開催（実施）日時 平成 22 年 10 月 25 日（月） 午前 午後・10 時 00 分から 午前・午後 12 時 00 分まで
報告者（部会長氏名） <敬称略>	小川直之	専門員氏名 松尾あずさ
出席者（参加者）氏名 <敬称略>	部会長 小川直之 部会委員 加藤隆志 小野寺節子 宮本八恵子 専門調査員 神かほり 乾賢太郎 【事務局】佐藤広 新井雅人 渡部恵一 松尾あずさ	
<p>概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください。）</p> <p>1．進捗状況の報告</p> <p>（1）高尾山飯縄信仰調査</p> <p>先達の調査を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宗教者になる過程、ライフヒストリーを落とさずに調査すること。ただし、プライバシーの問題もあるので、十全に配慮すること。 ・先達側だけではなく、貫主にも聞き取り調査にご協力頂いた方がよい。 <p>（2）社会組織調査</p> <p>『農村調査報告(16) 伝統ある都市近郊山村の変貌と課題(東京都八王子市恩方地区)』(農業大学校 1984 年)と比較して調査を進めたい。</p> <p>共有膳椀、共有林などに関しても調査を行いたい。</p> <p>（3）祭礼調査</p> <p>祭祀とは関係のない祭りをどのように捉えていくかが課題である。</p> <p>町場の特殊な祭りが八王子の特色と考えている。</p> <p>信仰や年中行事調査との棲み分けが必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告書の段階ではなるべく多くの聞き書きを掲載したい。分担はゆるやかでよい。 <p>（4）芸能調査</p> <p>調査担当は、「祭り・囃子」と「その他の芸能」に分かれる。「その他の芸能」では、連合会や保存会への調査がデータを補足してくれるであろう。</p> <p>小津獅子舞や八王子車人形には恩方地区の民俗誌調査の一環で入る。</p> <p>（5）口承文芸調査</p> <p>現在の「音」を採っておきたい。歌いぶり、話しぶりを記録したい。</p> <p>民謡に限らず念仏、和讃、棒打ち歌など広く調査を行いたい。</p>		

2. その他

- (1) 恩方地区の民俗誌調査は年度末で区切る。原稿は、刊行日の半年前に提出する。
以降、民俗誌調査は由木地区に入る。
- (2) 聞き取り調査をして執筆した原稿は、調査協力者に見て頂いた方がよい。
- (3) 課題別調査は周辺地域も含めて行ってよい。

平成23年度 市史編さん事業スケジュール(案)

NO	事業内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
1	市史編さん審議会	第1回		第2回	第3回				第4回					
2	市史編集委員会	第1回			第2回		第3回			第4回			第5回	
3	専門部会調査・研究活動													
	原始・古代部会	資料編編集			印刷契約 出稿	(写真撮影)			(編集・校正)				資料編刊行	
	中世部会	地域調査・資料調査												
	近世部会	資料調査・選択・筆耕												
	近現代部会	資料選択(一次)・筆耕			資料編編集			印刷契約 出稿	(編集・校正)				資料編刊行	
	自然部会	野外調査・標本調査(動物、植物)												
	民俗部会	テーマ別調査・地域別調査												
		調査報告書原稿執筆・編集					調査報告書 契約・出稿		(編集・校正)		調査報告書 刊行			
4	市民講座開催								講座開催					
5	いちょう塾提供講座開催	前期講座							後期講座					
6	「稲荷山通信」発行				第8号				第9号				第10号	
7	『市史研究』発行	原稿依頼・募集					編集			印刷契約 出稿		第2号 刊行		
8	マイクロフィルム作成		契約											
9	古文書等資料薫蒸						薫蒸							
10	庁内職員研修									研修会開催				

資料編名称等の統一について

資料 3

項目	横須賀市	相模原市	八戸市	沼津市	八王子市(案)
市史の名称 (前発行の市史名称)	新横須賀市史 (横須賀市史 昭63)	相模原市史 (相模原市史 昭39～47)	新編八戸市史 (八戸市史 昭44～56)	沼津市史 (沼津市誌 昭33～36)	新八王子市史 (八王子市史 昭38～43)
各巻の名称(抄)	通史編 通史編 自然環境・原始・ 古代・中世 通史編 近世 通史編 近代・現代 資料編 資料編 古代・中世 資料編 近世 資料編 近現代 別編 別編 文化遺産 別編 考古	現代編 現代図録編 現代資料編 現代通史編 テーマ編 自然編 民俗編 考古編 文化遺産編	通史編 通史編1 通史編2 通史編3 資料編 近世資料編 近現代資料編 考古資料編 民俗編 自然編	通史編 通史編 原始・古代・中世 通史編 近世 通史編 近代 通史編 現代 通史別編 漁村 通史別編 民俗 資(史)料編 史料編 古代・中世 史料編 近世1 史料編 近代1 資料編 考古 資料編 民俗 資料編 漁村 資料編 自然環境	本編 原始・古代編 中世編 近世編(上) 近世編(下) 近現代編(上) 近現代編(下) 自然編 民俗編 資料編 原始・古代資料編 中世資料編 近世資料編1 近世資料編2 近現代資料編1 近現代資料編2
外箱の有無	箱なし、カバーあり	箱なし、カバーあり	箱あり	箱あり	一部箱あり、カバーあり
【付随刊行物】					
調査報告書等		相模原市史調査報告書	八戸の歴史双書	沼津市史叢書 沼津市史編さん調査報告書 第 集	八王子市史叢書
目録等	第 集 横須賀市史資料所在目録				
体裁	無線綴じ 紙表紙(レザック)	無線綴じ 紙表紙(レザック)	無線綴じ、 紙表紙、カバー付き	無線綴じ 紙表紙(レザック)	無線綴じ 紙表紙(レザック)
判型	A4	A4	A5変、B6変	B5	A4、A5

『八王子市史研究』第 2 号の概要について

1. 名 称 八王子市史研究 第 2 号
2. 体 裁 A 5 判 縦書き 1 段組 (一部 2 段組) 160 p 程度
3. 発行部数 2,000 部
4. 発行日 平成 24 年 2 月
5. 原 稿
 - (1) 依頼原稿
専門部会構成員を中心に依頼する。
 - (2) 投稿原稿
一般から原稿を募集する
6. 編集体制
編集委員会委員 3 名 (委員長 1 名、委員 2 名) と事務局で投稿原稿の審査及び編集を行う。
7. 編集、刊行スケジュール
平成 2 3 年 5 月 投稿原稿募集、
6 月 依頼原稿執筆先の決定、依頼
8 月 投稿原稿締切り
9 月 投稿原稿審査
依頼原稿締切り
1 0 月 編集
平成 2 4 年 2 月 刊行
8. 内容 (案)
 - 特集 - 論文 3 本程度
 - 論文 - 3 本程度
 - 資料紹介、調査報告 - 2 本程度
 - 一般投稿 - 2 本程度
 - 市史編さん室覚書 - 日誌、名簿等

平成 22 年度第 1 回市史編さん審議会の概要について

1. 開催日 平成 22 年 12 月 20 日（月）
2. 会議の概要
 - (1) 市長からの諮問
「今後の八王子市史編さん事業推進の方策について」
 - (2) 今後の審議について
 - ア．今後、平成 23 年 6 月 24 日までの任期中に、3 回の審議を行い答申する。
 - イ．論点を次の 3 点に絞って審議する。
 - (ア) 刊行計画の見直しが必要かどうか
 - (イ) 市史を市民に普及するための工夫について
 - (ウ) 今後の調査、研究の進め方について
 - (3) 市史編集委員会からの説明について
審議を進めるにあたり、実際に市史の編集を担当する市史編集委員会の考え方を聞きたい。可能であれば、次回の市史編さん審議会に市史編集委員会の代表を呼び、現在の調査・研究、編集の状況について報告を受けたい。
3. 次回の市史編さん審議会の開催予定
平成 23 年 3 月下旬の開催を予定している。